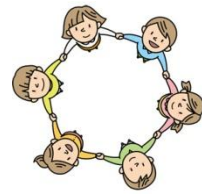


# 心の輪21R



『**軽いやさしさ**』という資料を通して、  
『**思いやり**』について考えました！



私は、『軽いやさしさ』と『重いやさしさ』の違いがよく分かりませんでした。でも、『人に無意識にやさしくすること』が『軽いやさしさ』ということは分かったので、これからは人に軽いやさしさで接していけたらと思います。また、愛は重い方がいいのに、やさしさは軽い方がいいのは面白いなと思いました。

今日、私は『軽いやさしさ』というのを学びました。『重いやさしさ』とは、『ほめられようとして行うこと』で、『軽いやさしさ』とは、『無意識の内に相手がとても思いやりを感じている』という違いが、この時間で分かった。

この時間を通して、私は福山がすごいと思った。理由は、『ローズマインド』を広めようとする活動があるから。だから私は、さりげなく人に対して何かをやるような人になりたいと思った。また、人のことを常に考えて行動できる人になりたいと思った。



## 心の送受信

「おもいやり」を漢字で書くと「思い遣り」。  
「遣る」には「さしむける」「おくり届ける」といったニュアンスがある。つまり「おもいやり」は相手に「思い」を「さしむけ」たり「おくり届け」たりすることから生まれた言葉だ。でも「届ける」以上は、相手に受け止めてもらわなければ「おもいやり」は成り立たないことになる。  
だからといって、何も押し付けるわけではない。相手の心に伝わればよい。  
あたたかな「思い」が伝われば、その「思い」は、またあなたにもどってくる。  
「思い」が伝わりあえば、互いをつなぐ絆も、太く、強くなる。  
「おもいやり」の送受信は、人と人との信頼を深める。

『中学生の道徳2 自分を考える』  
(出版：あかつき) P.91 より引用

私は普段から『重いやさしさ』をしています。例えば、私は見返りをいつも求めています。ただ、私はさりげなく思いやりをしている方だと思います。これからも人と人との信頼を深めたいです。

『軽いやさしさ』というのは、受ける人からすると、とても嬉しいけれど、やさしくする人は、見返りを求めず、当たり前のことをしている。だから、僕もやさしく人に接するように気をつけようと思います。

今日の道徳をやって、『重いやさしさ』もいいけど、『軽いやさしさ』の方が『思いやり』だと思いました。重かったら、人によっては迷惑だと思うので、軽い方がいいと思いました。